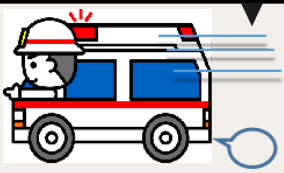
EMS NEWS LETTER

救急ニュース！

瀬戸内消防分署からのお便り

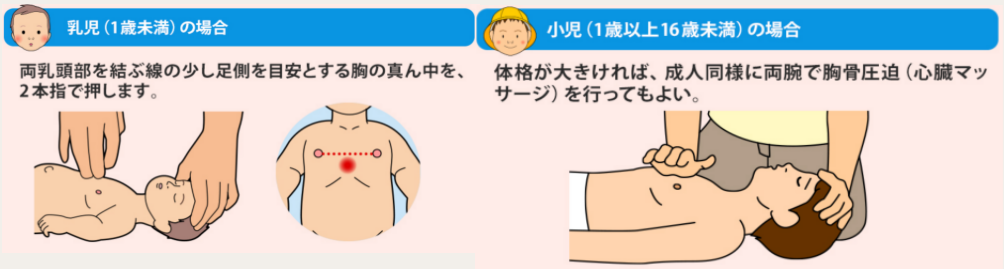


瀬戸内消防分署からお知らせです。
救急関連の情報などを掲載していますので、ぜひご確認ください。

溺水について

子供の不慮の事故で【２番目に】多いのが溺水です。
水深10ｃｍでも溺れる可能性があります。
溺れたら騒いだり暴れたりはしません。溺れると誰も気づけないことが多いです。

反応が無くなったらすぐに119番通報と心肺蘇生法を！



予防策は？

家庭内における予防策

・浴槽の水を溜めたままにしない
・洗濯槽の漬け置きにも注意
・バケツの水や洗面台の水も溜めたままにしない

海や川での予防策

・ライフジャケットの着用
・大人が近くで見ることが何よりも大事

心肺蘇生法注意点

上の図にも書かれていますが、乳児（１歳未満）は指２本で胸骨圧迫を行います。

小児（１歳以上16歳未満）は片手で胸骨圧迫を行います。体格が大きければ両手でも大丈夫です。

そして子供は大人と違い、呼吸ができない事が原因による心肺停止が多いです。【溺水や窒息など】人工呼吸がとても重要となります。

救急講習会について

瀬戸内消防分署では、救急講習会で命を救う知識、技術を教えています。
広報誌をご覧になられて、興味がありましたら、是非お問い合わせください。

大島地区消防組合
瀬戸内消防分署
救急係
0997-72-1190　FAX0997-72-1192
894-1508
瀬戸内町古仁屋芦瀬原1283番地175号

日本全国ＡＥＤマップについて

日本全国に設置されているＡＥＤその数は69万台を超えると言われています。
しかし、その使用率はたった４％（1,200件）程度であり、救命率向上のためにはＡＥＤは欠かせません。
旅先でも、設置場所がわかるよう、携帯電話にて【日本全国ＡＥＤマップ】を検索しましょう。

こちらの二次元コードから読み取りましょう→